

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 5月 13日

事業所名 オールケア山田東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		利用児に合わせてマットの配置をしています。	動線確保を考えながら、動きやすい環境整備を進めます。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	専門職員の配置は満たしております。	人材確保に努め、専門性を高めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		段差なく出入りでき、快適に過ごせる空間になってなっています。	さらに過ごしやすい環境、情報伝達の配慮に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		利用児に合わせて物の配置等の整備を行っています。	さらに安心安全に過ごして頂けるように配慮を続けます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	年間と、月間の目標を定め取り組んでいます。	日々の意識を高め、振り返りを行い、質の向上に努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	アンケートを実施し、意向の把握と業務改善向上に努めています。	ご家族様の意見を聞き、迅速に改善を図っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	ホームページにて公開しています。	毎年ホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	第三者機関の設置はないが、内部監査や部署間等での改善を図っています。	今後も引き続き、内部監査や部署間等での改善を図っていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部研修、法人内研修に参加しています。	人間性の向上を目指し、独自の研修機会を増やしていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		送迎時やモニタリング等で、具体的に、適宜話を聞き取るようにしています。	状況の聞き取りを細かく行い、さらにニーズや課題に近づいた計画、支援を行っていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	決まった書式でのアセスメントシートを使用し、記入しています。	標準化されたツールは使用していないが、同一書式の使用で、理解を深めています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		面談、モニタリングにてニーズを理解し、必要な項目を選ぶようにしています。	ご家族様のニーズを拾い上げ、具体的な支援に繋げていけるよう努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		計画書の周知共有を行い、支援をしています。	担当者が関わり、更なる理解へとつなげていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		担当者を中心に、ミーティングを実施し、立案から活動に繋げています。	個々の考えを活かし、活動が楽しく出来るよう立案
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	他に何がいいのか常に考え、固定化しないよう工夫しています。	同じ遊びを好む児童もいるが、新しいことも取り入れていけるようになります。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1	個別と集団ともにニーズの確認を行い作成しています。	個々の状況に合わせながら、遊びの工夫を計画実施していきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	朝礼と終礼にて情報共有をするようにしています。	シフト勤務の為、少ない職員でのスタートもあるため、そろった時や利用児到着時の確認も継続して行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	毎日行うようにしています。	その日の振り返りを終礼にて行い、保護者と職員間での情報共有にさらに努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		連絡ノート、終礼議事録にて共有し、改善に繋げています。	日々のノートをもとに、担当者による月間記録の作成を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		体調変化がある時には、こまめに連絡を取るようになっています。	モニタリングまでに、児童の変化や状況をまとめ、ご家族との見直し提案をしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達管理責任者が出席しています。	相談支援事業所からの問い合わせには、各職員にも対応できるようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	必要に応じて行うようにしています。	以前は、相談支援員が来訪していたが現在はコロナで減っています。今後も情報共有していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	3	必要に応じて対応しています。	今後も引き続き、連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	主治医の指示書を確認しながら、各機関と連携を図っています。	今後も主治医指示書を確認し、必要な情報共有していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	療育園にて情報共有をする機会がありました。	情報共有と相互理解を図れるように努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	必要に応じて学校との連携も図っています。	支援内容等の情報提供・共有をしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	コロナ禍でほぼ研修等はないが、情報共有をするようにしています。	今後も研修等参加して、助言や相談を受け、利用児に反映していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4		今期実施できていません機会があれば交流したいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3		今期参加できていません。今後も積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		様子を送迎時にお伝えし、積極的な聞き取りも行っています。	送迎時、連絡ノート等利用し、情報共有の機会を有効に活用しています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	聞き取りを行いながら、お困りごとの解決へ取り組んでいます。	ペアレントトレーニングは行っていませんが、ご家族様からの要望相談には迅速に応じ、対応していきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明しています。	今後も、追加等あれば丁寧に説明をしていくよう努めます。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		モニタリングでの事前の聞き取りに気を付けています。	事前の聞き取りを実施し、計画の説明を行い、同意をいただいています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	小さなちょっとした発言を見逃さないように気を付けています。	些細な事でも、こちらからの声掛けをしていくことに気を付けながら、確認をしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	個別の相談から、経験あるご家族を繋ぐことはしています。	父母の会等の活動はありませんが、今後行事の家族参加により、顔合わせが出来るようにしたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談、申し入れには、迅速な対応を心がけています。	特に苦情相談では、迅速かつ丁寧な対応を心がけていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		機関誌やホームページにて発信をしています。	個別の活動内容の様子を発信していけるよう、検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		十分に気を付けています。	今後も、資料、写真、情報ツールすべての管理徹底、強化をしていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		それぞれに応じた配慮をしています。	確認を常に行い、対応の共有を心がけていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3		今期はコロナで開催できませんでしたが、地域の畑を借りて芋ほりを実施できました。今後も連携を図っていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	内容の周知徹底と、訓練の実施をしています。	内容の周知と更新に努め、ご家族様にお伝え出来るようにします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的な訓練を実施しています。	より充実した訓練内容にしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	契約時に書式への記入にて確認をしています。	予防接種の把握や発作についても個々違う為再確認と適宜把握が必要の為、内容の確認、更新をしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	アレルギー表記を名札にてわかりやすく表示しています。	ご家族様に確認をし、記入して頂いています。適宜変更がある場合は、共有更新していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	ヒヤリハットの書式を用意し、記入して改善提案に努めています。	終礼時、共有しています。口頭だけで終わらせないように改善し、記録に残していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止の研修を受け情報共有を行っています。	身体拘束も合わせて、外部研修に参加した職員が、事業所にて他職員に研修を行う場を作っています。今後も実施していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		計画書に記載しています。	今後も計画書作成時に、説明をし、同意を得るようにしていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：2022年 5月 13日

事業所名 オールケア山田東

保護者等数(児童数) 6名

回収数 4名

割合 66%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4					状況に合わせて動線を確保し、安全な環境整備に努めています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3			1		人材確保と育成を継続して行い、より良い支援ができるようにしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3				1	特性に合わせたバリアフリー環境を心がけているが、さらに分かりやすく情報伝達が出来るよう努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3				1	毎日の清掃と消毒等の感染予防対策を施し、楽しめる空間を作っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3	1				日頃からニーズや課題の申し送り等で把握を行い、より良い支援計画となるように努めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3				1	各々に適切な支援計画となるように、検討を行い、提供に繋げていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4					計画内容を共有理解し、各々に沿った支援に努めます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4					固定化しないよう、様々な内容を考え工夫し支援していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1				3	以前は、地域公民館との関わりがあったがコロナで実施出来ていません。児童館の利用も計画していきます。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					今後も丁寧に説明をしていきます。
適切な	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4					モニタリングを行い、わかりやすい説明を心がけます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	3				1	都度ご家族の想い・意見を聞き取り、より必要な支援提供を目指します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					送迎時や情報共有ノートを使い、具体的に情報伝達、共有し理解を深めます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3				1	定期的に面談を実施し、相談しながら寄り添った支援に繋げていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
支援の提供	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2			2		個別の相談ではあるが、経験された保護者との繋がりがもてるよう橋渡しができた。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4					より迅速な対応、相談申し入れに丁寧にお応えしていけるように問題点と改善策の検討に努めます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					それぞれに合わせて配慮したコミュニケーションを心がけています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4					ホームページや機関誌での発信内容を充実させるように努めます。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	2	1		1		個人情報管理の徹底、強化に努めます。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3			1		訓練内容の対策についての説明、訓練の計画、実施を発信していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			1		訓練は、テーマごとに毎月行っています。今後も必要な訓練を実施していきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	4					これからも楽しく過ごして頂けるように運営を行います。
	23 事業所の支援に満足している	4					満足となる支援になるよう考え工夫し、努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 5月 13日

事業所名 オールケア山田東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	利用児に合わせてマットの配置をしています。	動線確保を考えながら、動きやすい環境整備を進めます。
	2 職員の配置数は適切である	4	2	専門職員の配置は満たしております。	人材確保に努め、専門性を高めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		段差なく出入りができ、快適に過ごせる空間になっています。	さらに過ごしやすい環境、情報伝達の配慮に努めていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	年間と、月間の目標を定め、取り組んでいます。	日々の意識を高め、振り返りを行い、質の向上に努めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	アンケートを実施、意向の把握と業務改善向上に努めています。	ご家族様の意見を聞き、迅速に改善を図っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	ホームページにて公開しています。	毎年ホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	第三者機関の設置はないが、内部監査や部署間等での改善を図っています。	今後も引き続き、内部監査や部署間等での改善を図っていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部研修、法人内研修に参加しています。	人間性の向上を目指し、独自の研修機会を増やしていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		送迎時やモニタリング等で、具体的に適宜話を聞き取るようにしています。	状況の聞き取りを細かく行い、さらにニーズや課題により近づいた計画、支援を行っていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	決まった書式でのアセスメントシートを使用し、記入しています。	標準化されたツールは使用していないが、同一書式の使用で、理解を深めています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		担当者を中心に、ミーティングを実施し、立案から活動に繋げています。	個々の考えを活かし、活動が楽しく出来るよう立案
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		他に何がいいのか常に考え、固定化しないよう工夫しています。	同じ遊びを好む児童もいるが、新しいことも取り入れていけるようにします。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	出来ることは何か考えた支援を工夫して、設定しています。	課題も含め細かく具体的な活動内容を決めていけるように努めます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	個別と集団ともにニーズの確認を行い作成しています。	個々の状況に合わせてながら、遊びの工夫を計画実施していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	朝礼と終礼にて情報共有をするようにしています。	シフト勤務の為、少ない職員でのスタートもあるため、そろった時や利用児到着時の確認も継続して行っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	毎日行うようにしています。	その日の振り返りを終礼にて行い、保護者と職員間での情報共有にさらに努めていきます。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		連絡ノート、終礼議事録にて共有し、改善に繋げています。	日々のノートをもとに、担当者による月間記録の作成を行っています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		体調変化がある時には、こまめに連絡を取るようになっています。	モニタリングまでに、児童の変化や状況をまとめ、ご家族との見直し提案をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5		必要に応じて組み合わせる支援を行っています。	総則の内容に沿いながら、必要に応じて必要な活動を組み合わせています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達管理責任者が出席しています。	相談支援事業所からの問い合わせには、各職員にも対応できるようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		必要に応じて行うようになっています。	今後も必要に応じて連携を図ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		主治医の指示書を確認しながら、各機関と連携を図っています。	今後も主治医指示書を確認し、必要な情報共有をしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	必要に応じて、各事業所と連絡を行っています。	今後も情報共有と相互理解を図れるように努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		必要に応じて、移行事業所との会議も行ってあります。	今後も情報共有と相互理解を図れるように努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		コロナ禍でほぼ研修等はないが、情報共有をするようにしています。	今後も研修等参加して、助言や相談を受け、利用児に反映していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		今期実施できていません 機会があれば交流したいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		今期参加できていません。 今後も積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		様子を送迎時にお伝えし、積極的な聞き取りも行っています。	送迎時、連絡ノート等利用し、情報共有の機会を有効に活用しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	聞き取りを行いながら、お困りごとの解決へ取り組んでいます。	ペアレントトレーニングは行っていませんが、ご家族様からの要望相談には迅速に応じ、対応していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明しています。	今後も、追加等あれば丁寧に説明をしていくよう努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		小さなちょっとした発言を見逃さないように気を付けています。	些細な事でも、こちらからの声掛けをしていくことに気を付けながら、確認をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	個別の相談から、経験あるご家族を繋ぐことはしています。	父母の会等の活動はありませんが、今後行事の家族参加により、顔合わせが出来るようにしたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談、申し入れには、迅速な対応を心がけています。	特に苦情相談では、迅速かつ丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		機関誌やホームページにて発信をしています。	個別の活動内容の様子を発信していけるよう、検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7		十分に気を付けています。	今後も、資料、写真、情報ツールすべての管理徹底、強化をしていきます。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		それぞれに応じた配慮をしています。	確認を常に行い、対応の共有を心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		今期はコロナで開催できませんでしたが、地域の畑を借りて芋ほりを実施できました。今後も連携を図っていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	内容の周知徹底と、訓練の実施をしています。	内容の周知と更新に努め、ご家族様にお伝え出来るようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的な訓練を実施しています。	より充実した訓練内容にしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止の研修を受け情報共有を行っています。	身体拘束も合わせて、外部研修に参加した職員が、事業所にて他職員に研修を行う場を作っています。今後も実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		計画書に記載しています。	今後も計画書作成時に、説明をし、同意を得るようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギー表記を名札にてわかりやすく表示しています。	ご家族様に確認をし、記入して頂いています。適宜変更がある場合は、共有更新していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハットの書式を用意し、記入して改善提案に努めています。	終礼時、共有しています。口頭だけで終わらせないように改善し、記録に残していきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：2022年 5月 13日

事業所名 オールケア山田東

保護者等数(児童数)25名

回収数 23枚

割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5				状況に合わせて動線を確保し、安全な環境整備に努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2				人材確保と、育成を継続して行い、より良い支援が出来るようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	1				特性に合わせたバリアフリー環境を心がけているが、さらにわかりやすく情報伝達出来るよう努めていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22					日頃からニーズや課題の申し送り等で把握を行い、より良い支援計画となるように努めます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	2				固定化しないよう、様々な内容を考え工夫し、支援していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	12	4	2	現在はコロナで制限があるので仕方ない	以前は地域公民館との関わりがあったが、コロナで実施できていません。児童館の利用も今後計画していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23					今後も丁寧に説明をしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1				送迎時や、情報共有ノートを活用し、具体的に情報伝達、共有し理解を深めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	3				定期的に面談やモニタリングを行いながら、相談し寄り添った支援に繋げていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	11	6	1	そのようなものがあるのか知らない	個別の相談で、経験のあるご家族と連携を取り、情報を繋げることができました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	5		1		より迅速な対応、相談申し入れに丁寧にお応えしていけるよう、問題点と改善策の検討に努めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1				それぞれに合わせて配慮したコミュニケーションを心がけています。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	2		1		ホームページや機関誌での発信内容を充実させるように努めます。	

	14	個人情報に十分注意しているか	23				なぜ印鑑を持たせているのか？	実績に印を押していることを直接説明。その他では使用しない旨も説明しました。今後も個人情報の取り扱いを徹底し、強化していきます。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	1				訓練内容の対策についての説明、訓練の計画実施を発信していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	5				訓練は、テーマごとに毎月行っています。今後も必要な訓練を実施していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	2			喋らないのでわからない	これからも楽しく過ごして頂けるように運営を行います。
	18	事業所の支援に満足しているか	22				いつも暖かく愛ある支援をして頂きありがとうございます。	満足していただける支援になるよう考え工夫し、日々努力していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。